

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 12 月 15 日

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	泉佐野市
計画の目標	下水道整備を計画的に行い、市民にとって災害に強い安全で安心して暮らせる街づくりを目指す。		
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道による都市浸水対策の達成率を21.4%（H22年度当初）から21.8%（H26年度末）に増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式	$\text{都市浸水対策達成率}(\%) = (\text{整備済み面積}(\text{ha}) / \text{整備対象全体面積}(\text{ha}))$		備考
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
	21.40%	21.70%	21.80%
全体事業費	計画 実績	合計 (A+B+C)	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
	614百万円 529百万円	A 535百万円 492百万円	B 0百万円 0百万円
		C 79百万円 36百万円	12.9% 6.9%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	泉佐野市において策定した「事後評価方針」に基づき、平成27年8月11日の上下水道局内審議において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証するとともに、平成27年9月4日～9月25日までの間、パブリックコメントを実施し、第三者の意見を広く求めることにより、今後の整備方針を検討することとした。	平成27年9月 公表の方法 泉佐野市のホームページ上で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-2	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	雨水	新設	湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業	φ500～1350mm, L=1,515m	泉佐野市						480.3	
1-A-4	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	雨水	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策	雨水ポンプ設備 N=6台	泉佐野市						11.5	長寿命化
1-A-5	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	雨水	耐震	湾岸中部処理区 中央ポンプ場耐震化対策	雨水ポンプ場（土・建築・設備）の耐震化	泉佐野市						0.4	
小計（下水道事業）											492.2						
合計											492.2						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-	
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
-																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-2	下水道	一般	泉佐野市	直接	-	雨水	新設	湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業（支線）	φ400～500mm, L=362m	泉佐野市						36.4	
合計											36.4						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
1-C-2	基幹事業(1-A-2)で実施する雨水管渠と接続する雨水管渠(支線)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道による都市浸水対策達成率を21.4%（H21末）から21.9%（H26末）に増加させたことにより、浸水被害の解消又は軽減に繋がり、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができた。 ・老朽化の進んでいる中央ポンプ場の長寿命化・耐震化計画を策定したことにより、当該雨水ポンプ場の安定的機能確保とライフサイクルコストの最小化を図るべく、計画的に改築更新事業を実施することが可能となった。				
II 定量的指標の達成状況	指標① 都市浸水対策達成率	最終目標値	21.80%	目標値と実績値に差が出た要因	本整備計画対象事業のほか、早期の浸水対策に必要な事業として市単独事業など、他の整備すべき路線整備を進めたことにより、目標値を上回る整備となった。 【目標値の算出根拠】 426ha ÷ 1,955ha × 100 = 21.8% 【実績値の算出根拠】 429ha ÷ 1,955ha × 100 = 21.9%
		最終実績値	21.90%		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

平成22年度から平成26年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標（都市浸水対策達成率）は目標を達成することができた。 今後も、雨水による浸水対策を進めるとともに、中央ポンプ場の長寿命化対策・耐震化対策など、改築更新事業を計画的に実施することにより、施設機能の安定的確保に努め、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいくこととする。
--

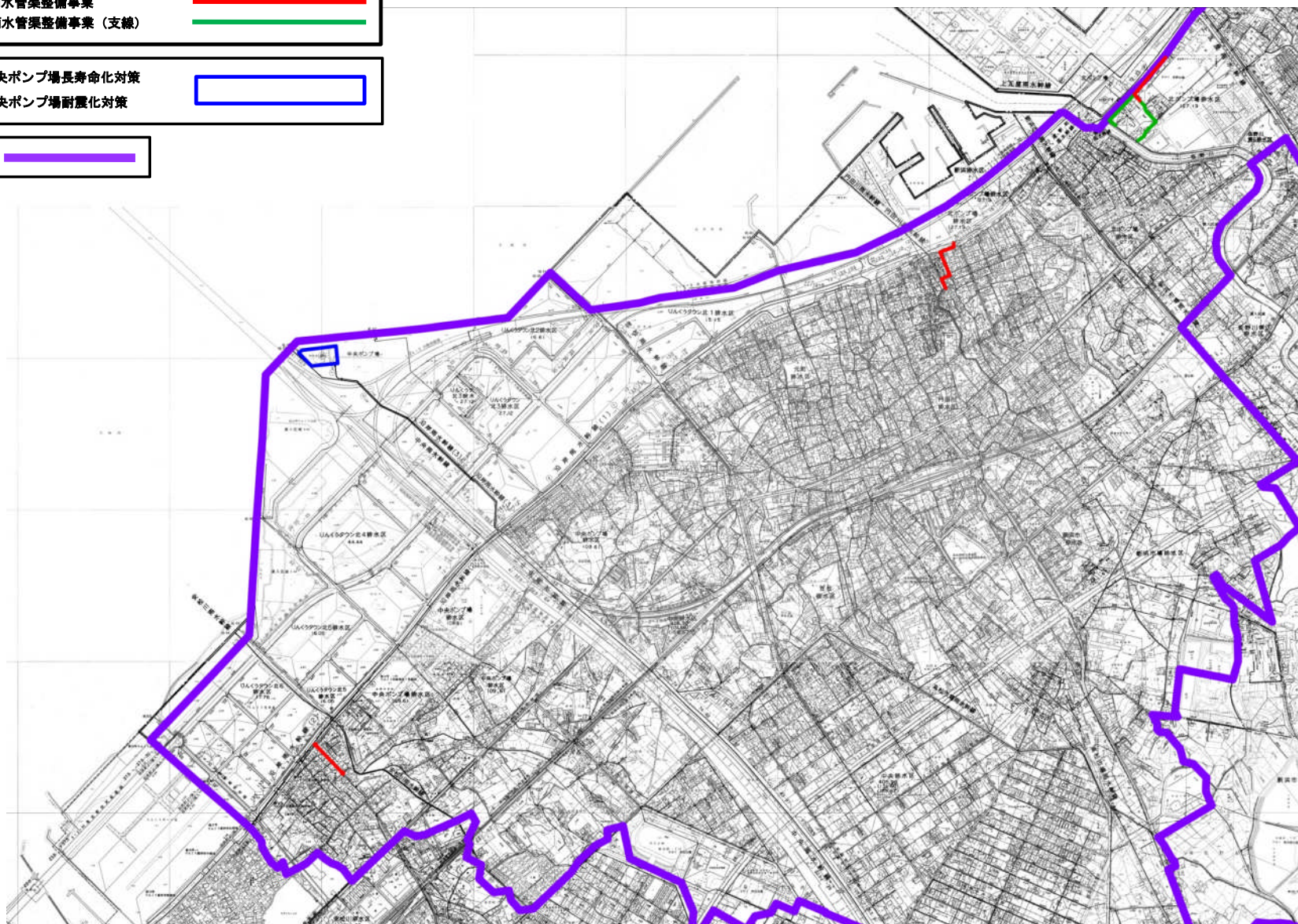
(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画 (防災・安全)	交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

- 1-A-2 湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業 —
- 1-C-2 湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業 (支線) —

- 1-A-4 湾岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策 □
- 1-A-5 湾岸中部処理区 中央ポンプ場耐震化対策 □

下水道法事業計画区域 —



(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画 (防災・安全)	交付対象	泉佐野市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

